

とても苦い生薬 - センブリ (千振) -

9月後半から10月になると陶史の森の水はけのよさそうな半日陰の遊歩道の脇に1cm程の白い可憐な花を見つけことがあります。よく見ると5枚の花びら(3~4枚の花びらもあります)には淡い紫色の縦線が入っています。

「センブリ」です。リンドウ科センブリ属の山野草です。和名の「センブリ(千振)」の由来は全草(花、葉、茎、根)が非常に苦く、その植物体を煎じて「千回振り出してもまだ苦い」ということから「千度振り出し」が略されて名付けられたとされます。別名は「トウヤク(当薬)」とも呼ばれます。別名の「当薬」は試しに味見をした人が「当(まさ)に薬である」と言ったという説から付いたとされます。

センブリはゲンノショウコやドクダミと共に日本の3大民間薬の一つとされており、昔から最も身近な苦味胃腸薬として使われてきました。薬効は、胃腸虚弱、消化不良、胃痛、腹痛、下痢、食欲不振などがあるとされます。

花が少なくなるこれからの時期に咲くセンブリは、森の中で慎ましく、しかしきらりと輝く美しさを放ちます。

センブリは2年草です。採集をしてしまうとその場所には2度と生えなくなります。山野草は全てそうですが、別のところへ移しての栽培はとても難しいです。陶史の森にある自然環境を守り、いつまでもセンブリなどの山野草が生きている森であることを願っています。



センブリの花

森	の
日	記

感染予防のため、行事の中止が
続いています 8月27日

岐阜県でも8月半ばより新型コロナウイルスの感染が急拡大し、まん延防止等重点措置に続き、緊急事態宣言が発令されました。陶史の森においても、感染対策のために8月、9月の「川の生き物教室」「夏の天体教室」「陶史の森まつり」「草木染め教室」「BBQ」が中止となりました。

今後、「きのご教室」「秋の天体教室」「葉っぱのしおり作り」「探鳥会」「BBQ」などを予定していますが、今のところ見通しが立ちません。感染状況によっては中止になる場合があります。

10月以降の各行事に参加を希望する方は、今後の本紙で確認するか、直接、陶史の森まで問い合わせください。なお、行事などが中止になっていても、陶史の森は通常通り開園しています。

教室のご案内

- 9月 ●バードウォッチング(要申込 定員10人)
9月26日(日) 午前9時~11時 雨天中止
初秋の野鳥を観察します。
- 10月 ●きのご教室(要申込 定員20人)
10月3日(日) 午前9時~
陶史の森に生えるきのごを観察します。
9時~10時 各自きのご採集
10時~11時 小グループ判別会
(ウッディドーム 講師対応)
各自解散 全体会はありません
- 秋の天体教室(要申込 定員10人)
10月9日(土) 午後7時~ 雨天中止
集合場所: 第2駐車場
秋の天体を観測します。
- バードウォッチング(要申込 定員10人)
10月24日(日) 午前9時~11時
秋の野鳥を観察します。

※新型コロナウイルスの感染状況により中止になる場合があります